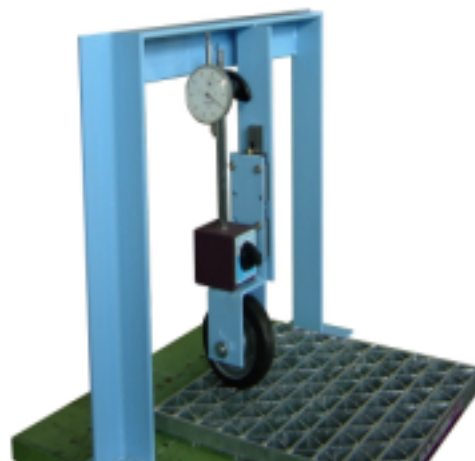
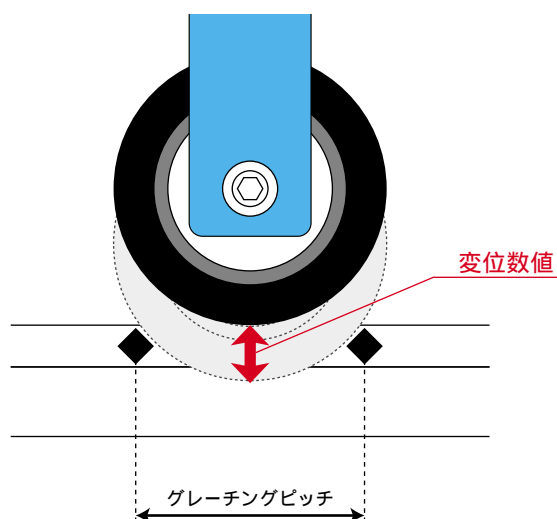


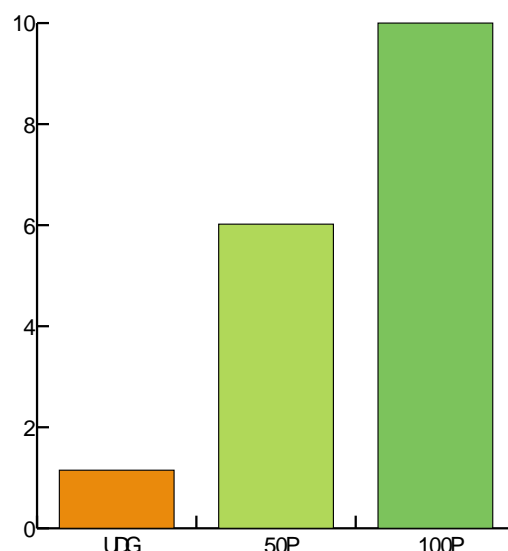
ユニバーサルデザイングレーチング変位試験結果

【変位実験方法】 車椅子・シルバーカー・ベビーカー等のキャスターがグレーチング上を通過するときの変位をみるためにUDGと圧接タイプのCB100ピッチ及び50ピッチについてキャスターの変位をダイヤルゲージを使用し測定した。

【使用機器】 変位測定器
キャスター ハンマー製 100×32 ゴム製を使用



進行方向	ベアリングバーと平行 (BBピッチ間)		
NO	UDG	50P	100P
1	1.27	5.99	10.00
2	1.39	5.71	10.00
3	1.05	6.15	10.00
4	1.00	6.16	10.00
5	1.05	6.08	10.00
平均	1.15	6.02	10.00



【総括】 キャスターがグレーチング上を通行する場合ベアリングバーまたはクロスバーの上だけを通行することは実際上極めて稀なので、上記の結果からBBピッチ間とCBピッチ間の数値を比較するとUDGはその変位は最大でも2mm以内であるのに対して、50Pグレーチングは最大値が6mm以上、100Pグレーチングは10mm以上である。これにより、キャスター等の小型の車輪などが通行する個所にはユニバーサルデザイングレーチング(UDG)の使用が望ましい。